

あなたは 生まれつきの あなたのままでいい

(法然上人)



謹賀新年！

新年おめでとうございます。

本年もよろしくお祈りします。

この掲示板法話、前回までは悩み相談に答える形にしていたのですが、今回は年始ということで、浄土宗の開祖・法然上人（1133-1212）の言葉をいただいて新年のご挨拶といたします。

冒頭に書いた「あなたは生まれつきのあなたのままでいい」は、法然上人が弟子の禅勝房に語ったとされる言葉を簡潔に意識したものです。詳しくは次のように語られています。

「過去世からのいろんなめぐりあわせの中でいまの私たちの命があるのです。だから、**どれだけ努力しても叶わないことがやはりあります**。たとえば、女性が男性になろうと思っても無理だ、というのもそのひとつでしょう。ことさらに自分を飾り立てたり偽ったりせず、頭のいい人は頭のいい人なりに念仏すればいいですし、頭の悪い人は頭の悪い人なりに念仏すればいいのです。心優しい人は心優しい人なりに念仏すればいいですし、ひねくれた人はひねくれた人なりに念仏すればいいのです。経典によれば阿弥陀如来の光はあらゆる人を照らしてくださっているのですから、**みんなが生まれつきの姿のままで念仏すればそれでいいのです**」



誇らしく生きよう

この言葉、はるかに時代が隔たったいま読んで、なかなか味わい深く感じられないでしょうか。「お金持ちの家庭に生まれてたら…」「あと10センチ身長が高かったら…」「顔立ちが整ってたらモテたのに…」「健康な体が欲しかった…」などと、**自分の生まれた境遇や両親からもらったDNAを恨んだことは、誰だっているはず**です。恨んだところでなにも変わらないのはわかっています。それなのに恨みに思う気持ちを捨てられない——これが昔から変わらない人間の悲しい性なのでしょう。

法然上人は、経典の言葉を根拠に、「阿弥陀如来の光は私たちの境遇や性格などによって差別することはない」とさとしています。太陽や月の光が私たちが分け隔てなく照らすように、仏さまの光も必ずあらゆる人を照らしてくれます。思うに任せない苦しい日々のなかでも、**あなたはあなたであることに誇りを持って生きてほしい**。そんな風に願って、法然上人は悩めるお弟子さんたちを優しく導いたのだと思います。

皆さんそれぞれが、この一年を誇らしく生き、多くの実りを結ばれることを願っています。

文・龍岸寺住職 池口龍法



ご結縁のお願い
浄土宗開宗八百五十年記念
本尊阿弥陀三尊像修復
及び諸堂境内等整備計画
令和七年より令和十一年まで

詳細はこちらに掲載しています→





Information

写真展&マルシェ



NYORAI への道

2月8日(土)～9日(日)
参加費：1,000円(マルシェは無料)

今年も肉(2/9)の日に合わせて、フォトグラファーやすはさんの写真展を開催。テーマは「こころと體を整えた先」。9日はマルシェ、礼拝体験(要予約)なども。

めいどカフェ



びゅあらんど

2月15日(土) 13時30分～
参加費：1,500円～

専属メイドむーたん&しきたんがお届けする、仏教めいどカフェ「びゅあらんど」。極楽に旅した気分、おまじないのなかったドリンクをめしあがれ!

漆塗教室



塗師・伊東泰範 わらべ仏漆塗教室

2月19日(水) 13時30分～
参加費：7,000円

あなた自身の手で、仏像に漆を塗ってみませんか? 塗師の指導のもと、小さな仏さまや香皿などを、あなた好みの色に塗り上げていただきます。

その他の行事：

1月 3日(金)	22時	おやすみ前の瞑想会(隔週金曜日/オンライン)
1月13日(月・祝)	15時	Keiko Börjeson 寺ジャズライブ
1月14日(火)	10時	仏師・三浦耀山 一日仏像彫刻教室(毎月第2火曜日(原則))



先祖供養

皆さま方のご先祖のご供養を心を込めておつとめいたします。従来の信仰は問いませんが、ご供養は浄土宗の法式にて執り行います。

●法事・葬儀●

本堂の阿弥陀さまの前で、年忌法要や葬儀をおつとめいたします。厳かにしてぬくもりのあるご供養の時間をお過ごしください。本堂は椅子席にてご準備しています。



●ご納骨●

2022年4月、永代供養墓「星月墓」を建立いたしました(写真)。天文学者・渋川春海の暮らした地にちなんだ、龍岸寺らしいデザインのお墓です。合祀区画と個室区画があります。従来型の家ごとのお墓の建立も承ります。

御朱印



【左】天文学者・渋川春海の屋敷跡という由緒にちなむ御朱印。

【右】現代版の「極楽来迎図」として注目を集めるドローン仏の御朱印。

●冥加料は各500円。
●ご参拝の証にいかがでしょうか。

浄土宗 三哲山 龍岸寺

元和2年(1616)、徳川家康に仕えた困基打ちとして名高い僧・安井三哲(算哲)によって開かれた。安井三哲の長男が、天文学者として知られる渋川春海(1639～1715)で、この地に暮らして天体の研究に注力し、ついには日本初の暦となる貞享暦の編纂にいたった。渋川は、改暦の功が認められて江戸幕府の初代天文方となって以降、江戸に移住。屋敷跡を改修して、現在の龍岸寺の本堂および庫裏が整備された。

600-8247 京都市下京区塩小路通大宮東入八条坊門町 564 番地
tel:(075)371-0370 / fax:(075)344-1912 / mail: info@ryuganji.jp
www.ryuganji.jp



住職の波乱の日々を綴ったエッセイ、9月19日発売! 書店で購入可。1,056円。